

日本膜学会第39年会のお知らせ

日本膜学会第39年会を下記の要領で早稲田大学にて開催いたします。例年通り人工膜、生体膜、ならびに境界領域と、膜学の広範囲な内容を含む年会を企画しております。一般発表以外に人工膜と生体膜の特別講演を各1件、ならびに人工膜3件、生体膜1件、境界領域1件の計5件のシンポジウムを開催します。基礎から応用まで膜の科学、技術に関心をお持ちの皆様のご参加とご発表（口頭およびポスター発表）をお待ちしております。詳細は膜学会ホームページ（<http://maku-jp.org/>）にてお知らせいたします。会員でない皆様も、これを機に是非ともご参加、ご発表頂きたく案内申し上げます。また、学生による優秀な発表に対し学生賞を設けていますので、ふるって応募して下さい。ただし、学生賞の審査対象はポスター発表に限ります。

記

開催日程：2017年5月26日（金）、27日（土）

開催会場：早稲田大学（西早稲田キャンパス 63号館）

主催：日本膜学会

共催：早稲田大学

◆発表募集要領

- 1) 一般演題の登録：一般演題を募集します。人工膜、生体膜、ならびに境界領域の、それぞれに関連した基礎・応用研究で未発表の内容とします。次の3)に従い、発表演題を登録して下さい。その後、所定の期日までに講演要旨をお送り下さい。演題の登録、講演要旨の申込みは、いずれもメールでのみ受け付けます。メールでの申込みが困難な場合は事務局にご相談下さい。
- 2) 発表形式：口頭、あるいはポスター発表（口頭発表の機器は液晶プロジェクターに限ります。パソコンは各自でご用意下さい。）
- 3) 演題登録：日本膜学会ホームページ掲載の日本膜学会第39年会研究発表申込書に次の1～9の必要事項を漏れなく明瞭に記載してメールで事務局宛お送り下さい。メールタイトルは「演題登録・氏名・〇件（複数の場合）」として下さい。筆頭著者（あるいは発表者）は会員に限ります。なお、発表申込後1週間経過しても受付確認の返信メールが届かない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

送付先：日本膜学会事務局第39年会係 E-mail : membrane@mua.biglobe.ne.jp

1. 発表分類：人工膜、生体膜、境界領域の別、ならびに発表分類番号6)を参照して下さい。
(例)人工膜でガス分離の場合、「人工膜7」と記入して下さい。
2. 演題
3. 氏名：発表者に○を付けるとともに、ふりがなもご記入下さい。
4. 所属略称：所属が複数の場合、番号を付して下さい。
5. 連絡責任者・連絡先：氏名、所属機関、所属機関住所、電話番号、メールアドレスを記入して下さい。
6. 要旨集事前送付先
7. 発表内容：140字以内で発表内容を簡潔に記載して下さい。

8. 発表形式：「口頭」または「ポスター」を選択して下さい。プログラム編成上、希望に添えない場合があることをご了解願います。
9. 学生賞への応募（ポスター発表のみ）：学生発表者の方は学生賞に応募するか否かを明記して下さい。なお、学生賞の対象は、過去1年以内の膜学会年会および膜シンポジウムの受賞者以外の学生に限ります。
- 4) 演題登録締切：2017年2月3日（金）
- 5) 講演要旨締切：2017年3月3日（金）
- 6) 発表分類：次の中から適切な分類を選び、演題登録の際に番号をご記入下さい。
- 【人工膜】** (1) 新規な膜および膜プロセス (2) 膜モジュール (3) メンブレンリアクター (4) 液膜 (5) センサー (6) パーバパーレーション・蒸気透過 (7) ガス分離 (8) 精密濾過 (9) 限外濾過 (10) ナノ濾過 (11) 逆浸透 (12) 透析膜 (13) イオン交換膜 (14) 電池用膜 (15) アフィニティ膜 (16) 膜評価法 (17) シミュレーション (18) モデリング (19) その他
- 【生体膜】** (1) 膜構造 (2) 膜ダイナミクス (3) 膜と情報伝達 (4) 膜と疾患・病態 (5) リポソーム・ベシクル (6) ドラッグデリバリーシステム (7) 膜タンパク質 (8) 膜機能 (9) 医療 (10) 膜評価法 (11) シミュレーション (12) モデリング (13) 膜輸送 (14) その他
- 【境界領域】** (1) 透過膜・膜電位 (2) 膜の荷電特性 (3) バイオセンサー (4) ドラッグデリバリーシステム (5) 単分子膜・二分子膜 (6) LB膜 (7) マイクロカプセル (8) 高分子膜・ゲル (9) バイオミメティック膜 (10) バイオセパレーション (11) 膜評価法 (12) シミュレーション (13) モデリング (14) その他

◆参加費（講演要旨代を含む）

1) 参加登録費

事前登録	一般会員 8,000円	学生 3,000円	非会員 11,000円
当日登録	一般会員 9,000円	学生 3,000円	非会員 12,000円
法人登録費	30,000円（事前登録割引はありません。5名まで入場可能です。）		

非会員の方は、年会費 3,000円をお支払いいただき、入会されることをご勧めいたします。なお、学生参加登録者は、平成29年度学生会員として登録されます。

2) 懇親会

日時：2017年5月26日（金）18：30～（予定）
会場：早稲田大学内（予定）
会費：6,000円

3) 事前参加登録

所定の振替用紙をご利用になるか、または下記振込先にお振込下さい。なお、みずほ銀行に振込の場合には、お手数ですが参加者名と要旨集送付先住所をメールにて事務局までご連絡下さい。事前参加登録締切は2017年4月7日（金）です。それ以降は当日登録の参加登録費を申し受けます。事前に参加登録をされた方には、要旨集を申込時にご連絡頂いた住所に事前に送付いたします。振替用紙が必要な場合は事務局までご申請下さい。

振込先：ゆうちょ銀行（店番 019・店名 〇一九・預金種目当座・口座番号 0116521・加入者名 日本膜学会年会）
みずほ銀行（本郷支店・普通預金・口座番号 0961801・口座名 日本膜学会）

◆演題登録、講演要旨の送付先・その他の問合せ先

日本膜学会事務局第39年会係 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-26-5-702
Tel & Fax : 03-3815-2818, E-mail : membrane@mua.biglobe.ne.jp

日本膜学会 会長 高野幹久
日本膜学会 第39年会組織委員長 岡村恵美子
副組織委員長 川上浩良

日本膜学会第39年会プログラム

●人工膜特別講演

「イオン液体と膜科学の接点」

大野弘幸先生（東京農工大学）

●生体膜特別講演

「膜タンパク質の構造生理学」

藤吉好則先生（名古屋大学）

◆人工膜シンポジウム1「膜による水処理技術を展望する VIII～新しい水処理膜への挑戦～」

オーガナイザー：川勝孝博（栗田工業）、熊野淳夫（東洋紡）、赤松憲樹（工学院大学）

- 1) 「無機逆浸透膜の現状と可能性」 野村幹弘（芝浦工業大学）
- 2) 「水処理分野における二次元ナノシート積層膜の最新動向」 中川敬三（神戸大学）
- 3) 「高透水性・高濁度対応膜モジュール」 藪野洋平（クラレ）
- 4) 「グラフト鎖を導入したタンパク質吸着膜の紹介」 佐藤優太（旭化成）

◆人工膜シンポジウム2「ナノファイバーが創る機能膜」

オーガナイザー：川上浩良（首都大学東京）

- 1) 「ナノファイバー不織布の特性と応用」 多羅尾隆（日本バイリーン）
- 2) 「ナノファイバー材料を利用した薄膜デバイスの高機能化」 松本英俊（東京工業大学）
- 3) 「ナノファイバーフレームワークを骨格とする新規全固体電解質膜の開発」 川上浩良（首都大学東京）

◆人工膜シンポジウム3「膜分離法によるCO₂分離回収技術」

オーガナイザー：谷口育雄（九州大学）

- 1) 「日本における膜分離法によるCO₂分離回収技術」 吉岡朋久（神戸大学）
- 2) 「CO₂原油強制回収施設における膜分離法によるCO₂分離技術」 森里 敦（Cameron）
- 3) 「欧州における膜分離法によるCO₂分離回収技術」 喜多英敏（山口大学）
- 4) 「豪州における膜分離法によるCO₂分離回収技術の最近の動向」 兼橋真二（東京農工大学）

◆生体膜シンポジウム「生命を操る生体膜機構～膜形態と細胞機能制御の最前線～」

オーガナイザー：中瀬生彦（大阪府立大学）

- 1) 「S1Pシグナルによるエクソソームへの積荷輸送調節」 中村俊一（神戸大学）
- 2) 「細菌の膜リン脂質の多様性：その生合成と機能（仮）」 栗原達夫（京都大学）
- 3) 「オートファジーにおける膜形成と分解標的認識のメカニズム：膜供給源であり分解対象でもある小胞体」 中戸川仁（東京工業大学）

◆境界領域シンポジウム「ハイドロゲル～その理論と材料開発～（仮）」

オーガナイザー：伊藤大知（東京大学）、大橋秀伯（東京農工大学）

- 1) 「感熱性高分子水溶液の相分離・ゲル化・レオロジー（仮）」 田中文彦（京都大学・名誉）
- 2) 「自励振動高分子ゲルの創製（仮）」 吉田 亮（東京大学）
- 3) 「環動ゲルの構造と物性（仮）」 伊藤耕三（東京大学）